

注3

大学番号：031

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

届出

足利工業大学 工学部 創生工学科

注2

【届出】改善意見等対応状況報告書

学校法人 足利工業大学
平成27年5月1日現在

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 足利工業大学

(2) 大学名

足利工業大学

(3) 大学の位置

【大前キャンパス】（工学部・看護学部）

〒326-8558

栃木県足利市大前町268番地の1

【本城キャンパス】（看護学部）

〒326-0808

栃木県足利市本城3丁目2120

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(カヒラゴトウ) 岡平悟朗 (平成10年12月)	(ウシヤマイヅミ) 牛山泉 (平成26年2月)	理事長退任による(26)
学長	(ウシヤマイヅミ) 牛山泉 (平成20年5月)		
学部長		工学部長 莊司和男(ショウジカズオ) (平成26年4月)	平成26年4月看護学部看護学科開設に伴い、工学部、看護学部に学部長を選任した(26)
		看護学部長 山門實(ヤマカドミノル) (平成26年4月)	
研究科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
 (例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)
 平成27年度に報告する内容 → (27)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 創生工学科 学士(工学)	4年	400人 440人	-	1680人 1720人 1,760人	入学定員をH26年4月入学生から400人に変更した。(26) 収容定員の1,720人は、H26年4月時。(26) 収容定員の変更(27)

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	440 (-) [-]	-	440 (-) [-]	-	400 (-) [-]	-	400 (-) [-]	-	0.65倍	0.66倍	編・転入者 3年次10人(25) 3年次10人(26) 3年次3人2年次2人(27) 入学者266の内1人が再入学者(留学生)(25) 入学者280の内1人が再入学者(27) H26年度から入学定員400に変更した
志願者数	560 (8) [49]	- (-) [-]	499 (11) [37]	- (-) [-]	519 (14) [38]	- (-) [-]	549 (7) [52]	- (-) [-]			
受験者数	553 (8) [49]	- (-) [-]	495 (11) [37]	- (-) [-]	513 (14) [38]	- (-) [-]	546 (7) [52]	- (-) [-]			
合格者数	490 (8) [41]	- (-) [-]	463 (11) [34]	- (-) [-]	475 (11) [32]	- (-) [-]	500 (6) [39]	- (-) [-]			
B 入学者数	295 (4)(4) [29]	- (-) [-]	266 (10) [27]	- (-) [-]	265 (10) [22]	- (-) [-]	280 (3)(2) [35]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	0.67		0.6		0.66		0.7				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[29] (-) 295	[-] (-) -	[27] (-) 266	[-] (-) -	[22] (-) 264	[-] (-) -	[35] (-) 280	[-] (-) -	入学者266の内 1人が再入学者(留学生)(25)
2年次	[27] (-) 296	[-] (-) -	[28] (-) 287	[-] (-) -	[28] (-) 253	[-] (-) -	[19] (-) 250	[-] (-) -	入学者280の内 1人が再入学者(27)
3年次	/		[35] (-) 293	[-] (-) -	[33] (-) 270	[-] (-) -	[26] (-) 236	[-] (-) -	3年次留学生数の増は、編入生が10人のため(25)
4年次			/		/		[35] (-) 269	[-] (-) -	
計	[56] (-) 591						[90] (-) 846		[118] (-) 1056

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した**在学者数、**留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成24年度入学者	295人	47人	平成24年度	8人	1人	就職2 学力不足1 就学意欲の低下3 その他2	15.9%
			平成25年度	24人	1人	就職3 進学3 学力不足10 就学意欲の低下3 その他3 除籍2	
			平成26年度	14人	0人	就職4 就学意欲の低下3 除籍1 学力不足4 その他2	
			平成27年度	1人	0人	就学意欲の低下1	
平成25年度入学者	266人	34人	平成25年度	8人	0人	就職2 進学2 学力不足3 その他1	12.8%
			平成26年度	24人	2人	就職3 進学2 学力不足10 就学意欲の低下1 その他2 除籍6	
			平成27年度	2人	0人	就職1 その他1	
平成26年度入学者	265人	17人	平成26年度	15人	4人	就職1 進学2 学力不足5 学生個人の心身に関する事情2 その他3 除籍2	6.4%
			平成27年度	2人	0人	学力不足2	
平成27年度入学者	280人	0人	平成27年度	0人	0人		0.0%
合計	1106人	98人					8.9%

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

〈工学部 創生工学科〉

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
建学の理念に関わる科目	建学の理念と聖徳太子	1前・2後 1後 1前	2								兼2 非常勤講師の都合により学期変更および全学生に受講の機会を与えるため2年次にも開講(24) 非常勤講師の都合により後期に開講(23)	
	人間と宗教	1・2前 1前・1後 1前	2								兼1 兼任講師定年退職(27) 兼2 兼任講師追加(26) 兼1 全学生に受講の機会を与えるため2年次にも開講(24) 全学生に受講の機会を与えるため後期にも開講(23)	
	暮らしのなかの宗教	1後・2前 2前 1後	2								兼2 全学生に受講の機会を与えるため1年次にも開講(24) 配当年次を変更(23)	
	仏教の源流といま	1・2後 1前・2後 2前 1後	2								開設学期の変更(27) 非常勤講師の都合により学期変更および全学生に受講の機会を与えるため1年次にも開講(24) 配当年次を変更(24)	
	ヒューマン・エナジー入門	1前	2		1							
	地方の大学と社会	1後	2		1							
教養科目 人文・社会科学	科学史	1・2前・2後 1・2前 1前	2		1			+			開設学期の変更(27) 教授昇格による(25) 全学生に受講の機会を与えるため2年次にも開講(24)	
	哲学	1・2後 1後	2		1			+			教授昇格による(25) 全学生に受講の機会を与えるため2年次にも開講(24)	
	文学Ⅰ	1・2前 1前	2					+			兼1 科目の廃止(27) 全学生に受講の機会を与えるため2年次にも開講(24)担当者依願退職による(25)兼任講師採用(26)	
	文学Ⅱ	1・2後 1後	2					+			兼1 科目の廃止(27) 全学生に受講の機会を与えるため2年次にも開講(24)担当者依願退職による(25)兼任講師採用(26)	
	文学	1前	2								兼1 科目の新設(27)	
	地域史	1後	2								兼1 科目の新設(27)	
	心理学Ⅰ	1・2前 1前	2		1	1					内容を幅広くするために担当者数を増加および全学生に受講の機会を与えるため2年次にも開講(24) 兼任講師就任辞退に伴う担当者変更(23)	
	心理学Ⅱ	1・2後 1後	2		1	1					全学生に受講の機会を与えるため2年次にも開講(24)	
	法学Ⅰ	1・2前 1前	2		1	+					教授昇格(27) 全学生に受講の機会を与えるため2年次にも開講(24)	
	法学Ⅱ	1・2後 1後	2		1	+					教授昇格(27) 全学生に受講の機会を与えるため2年次にも開講(24)	
	文化論Ⅰ	1前	2								兼1 兼任に担当者変更(25)	
	文化論Ⅱ	1後	2								兼1 兼任に担当者変更(25)	
	教育学Ⅰ	1前	2								科目の廃止(27)	
	教育学Ⅱ	1後	2								科目の廃止(27)	
	足利史Ⅰ	1前	2								兼1 科目の廃止(27)	
	足利史Ⅱ	1後	2								兼1 科目の廃止(27)	
	日本と世界の歴史Ⅰ	1・2前	2								兼1 科目の新設(27)	
	日本と世界の歴史Ⅱ	1・2後	2								兼1 科目の新設(27)	
	経済学入門	1・2前	2								兼1 科目の新設(27)	
	経済と社会	1・2後	2								兼1 科目の新設(27)	
	ゼミナール(人文・社会科学)	1・2 前・後	1			1		+	+			受講対象者数の減少による(27) 対象者減に伴う講座数減による(25) 内容を幅広くするために担当者数を増加(24) H23年度は後期1講座のみ(23)
	人文・社会科学総合A	1・2・3 休	2			1		+	+			教授昇格(27) 対象者減に伴う講座数減による(25) 内容を幅広くするために担当者数を増加(23)
	人文・社会科学総合B	1・2・3 休	2			1		+				受講対象者数の減少による(27) 担当者変更及び教授昇格(25)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教 養 科 目 自 然 科 学	数理演習	1前		2		3 2 3 3	3 -4 3 9						兼1 担当者変更(27) 兼任講師追加(26) 担当者変更(24)(25)(26) 講師依願退職(25) クラス数の減少による(23)
	関数入門	1前		2			1 2 2 +	+					兼1 受講対象者数の減少による(27) 准教授採用(26) 講師依願退職(25) 担当者変更(24)(25) クラス数の減少による(24)
	数学基礎	1後		2		1 +	1 +				+		担当者変更(27) 受講対象者数の減少による(24) 教授昇格による(23)
	総合科学実験 I	1前		2		3 -4 2 +	2 2 4 3 5	1 +		2			兼1 兼3 兼2 担当者変更(27) 少人数化を進めるため専任教員数の増加および 講師の就任(24) 兼任講師追加(26) 担当者変更(26) 教員数は、教授・准教授採用含む(26) 受講対象者数の減少による担当者数減(23)(25) 講師数は、准教授昇格による(23)(25)
	総合科学実験 II	1後		2		2 3 +	2 2 3 2	1 +		1			兼1 兼2 担当者変更(27) 講師数は、准教授昇格による(25) 担当者変更(25) 講師の就任と担当者変更(24) 受講対象者数の減少による担当者数の減(23) 教員数は、教授1採用及び教授1昇格による(26) 担当者変更(26)
	数学 I	1前・後 1前		2		2 +	1 2 3 4	+					兼1 講師依願退職(25)担当者変更(24)(26)(27) 准教授1採用・担当者変更・兼任講師追加(26) 担当者数の減少は、クラス数の減少による(23) 数学系科目の習熟度別カリキュラムの効果を高め るため、後期にも開講する(23)
	数学 II	1後・2前 1後		2			1 2 2 +						兼1 講師依願退職(25) 担当者変更(24)(25)(26)(27) 全学生に受講の機会を与えるため2年次にも開講(24) 教授数は昇格による(23) 准教授数の減少はクラス数の減少による(23)
	数学 III	2前		2		1 +	+						担当者変更(27) クラス数の減少による(24)(25)
	数学 IV	2後		2		+	1	+					講師依願退職(25) 担当者数の減少は、クラス数の減少による(24)
	物理学 I	1前・後 1前		2		2 3 2 +	1 1 3 3	1 +					兼1 担当者変更(27) 教授1採用(26) 講師数は、准教授昇格による(25) クラス数の増加による講師の就任(24) 担当者数の減少はクラス数の減少による(23)(25) 物理学系科目の習熟度別カリキュラムの効果を高 めるため、後期にも開講する(23)
	物理学 II	1後・2前 1後		2		1 +	+						担当者変更(27) クラス数増による(25) 全学生に受講の機会を与えるため2年次にも開講 (24) 担当者変更(23)
	化学 I	1後		2			1 1 2						クラス数の減、担当者の変更(25)(26) 講師から准教授に昇格(23)
	化学 II	2前		2		1 +	2	+					クラス数の減少と担当者変更(24)
	ゼミナール(自然科学)	1・2 前・後		1		1 2 +	1 2 8						担当者の依願退職による(25) 内容を幅広くするために担当者数を増加(24) 受講対象者数の減少による(23)(25)
自然科学A	1・2・3 休		1			1 +						担当者変更(23)(24)	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由		教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自然科学	自然科学B	1・2・3 休		1			1						
	自然科学C	1・2・3 休		1			+	1					担当者変更(27) 准教授から教授に昇格(23)
	自然科学D	1・2・3 休		1			+	+					担当者検討中(27) 担当者変更(23)
外国語	英語 I	1前・後 4前		2			1	+	2	+	1		兼5 准教授から教授に昇格(24)兼任講師追加(26) 兼4 より少人数化を進めるため専任教員数を増加し、単位未 修得者のために後期にも開講する(23)
	英語 II	1後・2前 4後		2				+	+	1		兼5 兼任講師追加(26) 兼4 単位未修得者のために2年次にも開講する(24)	
	英語 III	2前・後 2前		2			1		+	+		兼4 担当者変更及び兼任減(27) 兼5 兼任講師追加(26) 兼4 より少人数化を進めるため専任教員数を増加し、単位未 修得者のために後期にも開講する(24)	
	英語 IV	2後		2			1	+	+			兼4 准教授から教授に昇格(24) 兼3 担当教員変更(24)兼任講師追加(26)	
	英会話	2前・後 2前		2								兼1 単位未修得者のために後期にも開講する(24)	
	検定英語 I			2								兼1 科目の新設。外部試験結果により認定(27)	
	検定英語 II			2								兼1 科目の新設。外部試験結果により認定(27)	
	検定英語 III			2								兼1 科目の新設。外部試験結果により認定(27)	
	検定英語 IV			2								兼1 科目の新設。外部試験結果により認定(27)	
	ドイツ語 I	2前		2				+				兼1 兼任に担当者変更(25)	
	ドイツ語 II	2後		2				+				兼1 兼任に担当者変更(25)	
	中国語 I	2前		2								兼1	
	中国語 II	2後		2								兼1	
	韓国語 I	2前		2								兼1	
	韓国語 II	2後		2								兼1	
	日本語 I	1前		2			1	+				兼1 兼任に担当者変更(25) 担当者変更(26) 兼2 専任の中国人教授を担当者に加え、中国からの留 学生への日本語教育を充実させた(23)	
	日本語 II	1後		2			+					兼2	
	日本語 III	2前		2			+					兼2 専任の中国人教授を担当者に加え、中国からの留 兼4 学生への日本語教育を充実させた(24) 担当者変 更(26)	
	日本語 IV	2後		2								兼2 兼任担当者追加(26) 兼1	
	ゼミナール(外国語)	1・2 前・後		1					+	+			27年度は開講しない(27) H26年度は開講しない(26) 担当教員変更(24)(25) H23年度は後期1講座のみ(23)
英語 A	1・2・3 休		1			1	+					准教授から教授に昇格(24)	
英語 B	1・2・3 休		1			+			1			担当者変更(25) 准教授から教授に昇格(24)	
健康・ スポーツ 科学	健康スポーツ I	1前		1			1	+	1	2		兼1 准教授から教授に昇格(26) 教授1名依願退職(24) 教授1名依願退職(23)	
	健康スポーツ II	1後		1			1	+	1	2		兼1 准教授から教授に昇格(26) 教授1名依願退職(24) 教授1名依願退職(23)	
	健康スポーツ III	2前		1			1	1	2	2		准教授から教授に昇格(26) 教授1名依願退職(23)(24)	
	健康スポーツ IV	2後		1			1	1	2	2		准教授から教授に昇格(26) 教授1名依願退職(23)(24)	
	生涯スポーツ I	3前		1				+	2	2		兼4 科目の廃止(27) h24教授1名依願退職(25) h23教授1名依願退職(25)	
	生涯スポーツ II	3後		1				+	2	2		兼4 科目の廃止(27) h24教授1名依願退職(25) h23教授1名依願退職(25)	
	シーズンスポーツ	1・2・3・4 休		1			+	+				兼4 科目の廃止(27) 准教授から教授に昇格(26)兼任講師追加(26)	
	ゼミナール(健康・スポーツ科学)			1			1	1	1				兼4 科目の新設(27)
	研海 修外	国際文化体験 I	1・2・3・4 休		2			1					
	国際文化体験 II	1・2・3・4 休		2			1						

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教 養 ゼ ミ 教 養 科 目	文章表現Ⅰ	1後		1		18 16 19 8 7 4	10 12 13 14 16 14	2 +	2			担当者変更(25)(26)(27) 教員の退職や就任等により担当者を見直した(24) 文章表現Ⅰの担当者編成を全学的に見直した(23)	
	文章表現Ⅱ	2前		1		1						兼1 専任の中国人教授を担当者に加え、留学生に特化した キャリア教育としての日本語教育を充実させた(25)	
	文章表現Ⅲ	2後		1		1						兼1 専任の中国人教授を担当者に加え、留学生に特化した キャリア教育としての日本語教育を充実させた(25)	
	自己表現Ⅰ	3前		1		4 2	1 2	+				担当者変更(26)	
	自己表現Ⅱ	3後		1		36 36 35	18 20 23	3		1	2	2	兼1 担当者変更(26)(27) 課題研究(＝卒業研究)担当者全員が少人数で教 育するように変更した(25)
	75 小計 (73科目)	-	0	110 144	0	46 44 43 12 9 8	23 27 27 27 34 16	4 2 3 3 2 3	3 +	3	2	0	兼20 教授退職2。教授昇格3。教授新採用1。准教授退職2。講 師昇格1。講師新採用1。助教昇格2。助教1海外研修よ り帰国(27) 教授昇格3。教授採用1。准教授採用1 教授退職4。准教 授退職2(26)助教1は1年間海外研修(26) 教授昇格1。准教授昇格1。准教授退職3。講師退職1(25) 教授昇格1。教授1退職。新規講師1(24) 兼23 教授昇格1・准教授昇格1。教授1・准教授2退職。 兼21 新規准教授1(23)

2 授業科目の概要

<工学部 創生工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	環境工学概論	1前		2		1							兼1 科目の廃止(27)	
	創生工学概論	1前		2		11	1						科目の新設(27)	
	エネルギー工学概論	1後		2		1							開設学期の変更(27)	
	脳科学概論	1前		2		1							兼1 教授1看護学部へ異動(26)	
	生命システム学入門	1後		2		3	4						兼1 科目の廃止(27) 教授昇格による(26) 教授1看護学部へ異動(26)	
	情報システムデザイン概論Ⅰ	1前		2		3	5						科目の廃止(27) 担当者変更(26) 学系全般の内容になるよう担当者数を増加した。オムニバス形式に変更(24)	
	情報システムデザイン概論Ⅱ	1後		2		4	4		4				兼1 科目の廃止(27) 担当者変更(26) 学系全般の内容になるよう担当者数を増加した(24) オムニバス形式に変更(23)	
	情報デザイン概論	1後		2		2	2	1					兼1 科目の新設(27)	
	機械・電気概論Ⅰ	1前		2		3	5						科目の廃止(27) 教授昇格による(25) 受講対象者数の減少による(24) オムニバス形式に変更し、学系全般の内容になるよう担当者数を増加した(23)	
	機械・電気概論Ⅱ	1後		2		6	4						科目の廃止(27) 教授昇格による(26) 担当者変更(25) 受講対象者数の減少による(24) オムニバス形式に変更し、学系全般の内容になるよう担当者数を増加した(23)	
	機械・電気概論	1後		2		5	2						科目の新設(27)	
	建築・社会基盤概論Ⅰ	1前		2		4							科目の廃止(27) 担当科目の追加(26) オムニバス形式に変更(23)	
	建築・社会基盤概論Ⅱ	1後		2		4							科目の廃止(27) 担当科目の追加(26) 受講対象者数の減少による(24) オムニバス形式に変更(23)	
	建築・社会基盤概論	1後		2			1			1			科目の新設(27)	
	6 小計 (40科目)	-		0	12	0	17	5	1					教授退職1 教授昇格2(26) 教授1 准教授1担当変更(26) 兼1
	専門教育科目	フレッシュマンゼミ	1前		1		27	13	2	1				担当者の再編による(25)(26)(27) 准教授の就任(24) 昇格及び担当者の再編による(23)
コンピュータリテラシー		1前・2後 1前・1後 1前		2		5	2	1	2				開設学年の変更及び担当者増員(27) 単位未修得者のために後期にも開講する(24)	
コンピュータサイエンス入門		1後		2		2	3	1					兼1 担当者変更(27) 兼5 受講対象者数の増加による担当者増 兼3 (26)	
応用物理学Ⅰ		2前		2		2	4	1					教授採用による担当者変更(26) 受講対象者数の減少による(24)(25)(27)	
応用物理学Ⅱ		2後		2		1	4	1					担当者変更(27) 受講対象者数の減少による(24)(25) 講師の就任(24) 教授採用(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 教 育 科 目	応用数学Ⅰ	3前		2		1 +	+	+				受講対象者数の減少による(25) 担当者変更(26)
	応用数学Ⅱ	3後		2		1 +	+	3				担当者変更(27) 受講対象者数の減少による(25) 准教授採用による担当者変更(26)
	総合英語Ⅰ	2前・3前 2前		1		1		+	1			単位未修得者のために開講(27) 兼1 准教授から教授に昇格(24) 兼2 兼任担当者変更(26)
	総合英語Ⅱ	2後・3後 2後		1		1		+	1			単位未修得者のために開講(27) 兼1 准教授から教授に昇格(24) 兼2 兼任担当者変更(26)
	総合英語Ⅲ	3前・4前 3前		1		1	1					単位未修得者のために開講(27) 教授昇格による(25) 兼1 兼任担当者追加(26)
	総合英語Ⅳ	3後・4後 3後		1		1	1					単位未修得者のために開講(27) 教授昇格による(25)
	技術者倫理	3後		2		4 +						担当者増員(27)
	インターンシップ	2・3 休		2		5	2	1				担当者増員(27)
	情報化社会と情報倫理	3後		2		1	+					教授に昇格(27)
	知的財産関係法規	4前		2		1	+					教授に昇格(27)
	課題研究	3後	2			38 36 34 30	18 20 22 26	3 2	1 1 2			教授に昇格等(27) 兼1は教授1看護学部へ異動(26) 兼1 教授昇格による(26) 助教1は1年間海外研修(26)
	卒業研究A	4前	4			37 36 30	18 20 26	2 2		1 2		教授に昇格等(27) 兼1は教授1看護学部へ異動(26) 兼1 教授昇格による(26) 助教1は1年間海外研修(26)
	卒業研究B	4後	4			37 36 30	18 20 26	2 2		1 2		教授に昇格等(27) 兼1は教授1看護学部へ異動(26) 兼1 教授昇格による(26) 助教1は1年間海外研修(26)
	職業指導	3前			2	1 +	+					担当者変更(26)(27)
	情報と職業	3後			2	1 +	+					担当者変更(26)(27)
	検定情報MWS			1								科目の新設。外部試験結果により認定(27)
	検定情報MWE			2								科目の新設。外部試験結果により認定(27)
	検定情報MES			1								科目の新設。外部試験結果により認定(27)
	検定情報MEE			2								科目の新設。外部試験結果により認定(27)
	検定情報MPP			1								科目の新設。外部試験結果により認定(27)
	検定情報MAS			1								科目の新設。外部試験結果により認定(27)
	検定情報MOL			1								科目の新設。外部試験結果により認定(27)
	検定情報DMB			1								科目の新設。外部試験結果により認定(27)
	検定情報DAS			2								科目の新設。外部試験結果により認定(27)
	検定情報DAD			3								科目の新設。外部試験結果により認定(27)
	検定情報IIP			1								科目の新設。外部試験結果により認定(27)
	検定情報IFE			2								科目の新設。外部試験結果により認定(27)
検定情報IAP			4								科目の新設。外部試験結果により認定(27)	
検定高度情報処理			6								科目の新設。外部試験結果により認定(27)	
34 小計(20科目)	-		10	51 25	4	43 40 37 35 34 32	18 24 26 29 36	4 2 4 3 5	3 2 +	0	兼3 教授昇格3。教授採用1。教授退職2。准教授採用1。准教授退職2。教授1看護学部へ異動(26)担当者変更(26) 兼1 但し、助教1は1年間海外研修。(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 教 育 科 目	自然エネルギー・環境学系											
	自然エネルギー概論	2前		2		4 5 -4 3		1			1 +	担当者変更(26)(27) 助教1は1年間海外研修(26) 准教授から教授に昇格(24)
	環境とライフスタイル	2前		2		+	+					科目の廃止(27) 准教授から教授に昇格(24)
	自然エネルギーと適正技術	2後		2							1 +	海外研修から帰国(27) 休講。助教1は1年間海外研修(26)
	自然エネルギー設計法A	2前		2		1						兼1 兼任担当者追加(26)
	自然エネルギー設計法B	2後		2		1						
	自然エネルギー・環境実習A	2後		2		3 +		2				兼1 兼任減(27) 准教授から教授に昇格(24) 常勤教員に変更(27)
	自然エネルギー・環境実習B	3前		2		2 +		+			1 +	兼1 担当者変更(26) 兼任担当者追加(26)
	自然エネルギー・環境実習C	3後		2		2	+				+	兼1 科目の廃止(27) 助教1は1年間海外研修(26)
	熱工学 I	2前		2		1	+					准教授から教授に昇格(24)
	熱工学 II	2後		2		1	+					准教授から教授に昇格(24)
	熱機関	3前		2		1	+					准教授から教授に昇格(25)
	省エネルギー	2後		2		+						科目の廃止(27)
	太陽エネルギー	3前		2		1						
	風力エネルギー	3前		2							1 +	海外研修から帰国(27) 休講。助教1は1年間海外研修(26)
	バイオエネルギー	3後		2		1	+					准教授から教授に昇格(25)
	自然エネルギー特別講義 I	3後		2		2 +					+	兼4 担当者変更(26) 兼5 助教1は1年間海外研修(26)
	自然エネルギー特別講義 II	4前		2		1						兼6 講演者の充実を図るため(26) 兼1
	環境法規・法令	3前		2		1	+					教授に昇格(27)
	環境保全 I	3前		2								兼1 科目の廃止(27)
	環境保全 II	3後		2		1	+					准教授1退職(26)
	環境機能性材料	3前		2		1						
	エコトランスポーターション	3後		2		1						
	花火と環境	3後		2		1	+					准教授から教授に昇格(25)
	エネルギー環境と歴史	3後		2		1	+					准教授から教授に昇格(25)
エネルギー環境と倫理	4前		2		+						兼1 兼任担当者追加(26)	
20 小計 (25科目)	-		40 50	0	7 5	3 4	0	1 +	0	0	兼6 准教授1退職(26) 兼14 助教1は1年間海外研修(26) 兼7	
生命システム学系												
学 系 専 門 科 目	基礎生物学	1後		2		+					兼1 兼任に担当者変更(25)	
	脳と物質	2前		2		1	+			+	講師から准教授に昇格(24) 教授昇格による(26)	
	脳のハードウェア	2後		2		1 +					教授1工学部に異動(27) 兼1 教授1看護学部に異動(26)	
	生化学実験	2前		2		1	1 +	1		+	教授昇格による(26) 講師から准教授に昇格(24)	
	分子生物学	2後		2			+			+	科目の廃止(27) 兼1 兼任に担当者変更(25) 講師から准教授に昇格(24)	
	睡眠科学	2後		2		1 +					教授1工学部に異動(27) 兼1 教授1看護学部に異動(26)	
	睡眠環境学	3前		2			1	+			講師から准教授に昇格(25)	
	認知心理学 I	2後		2		1						
	認知心理学 II	3前		2		+					科目の廃止(27)	
	社会とメディア	2前		2			+				科目の廃止(27)	
	社会情報学	2前 2後		2				1				開設学期の変更(27)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教	マンマシンシステム	3後		2			1	+				講師から准教授に昇格(25)	
	生命倫理	2前		2		1	+					教授に昇格(27)	
	運動生理学	3後		2		1	+					教授昇格による(26)	
	生命システム学実習 I	2後		2		3		1				兼1 教授1看護学部異動(26) 受講対象者数の減少により担当者の再編(24)担当者変更(26)	
	生命システム学実習 II	3前		2		3	1	2				教授昇格による(26)	
	デジタル信号処理	3前		2		1		+					
	臨床心理学 I	3後		2				+				兼1 兼任に担当者変更(27) 兼1 常勤教員に変更(26)	
	臨床心理学 II	4前		2				+				兼1 科目の廃止(27) 兼1 常勤教員に変更(26)	
	産業心理学	3前		2			1	+				講師から准教授に昇格(25)	
	行動分析学 I	3前		2		1							
	行動分析学 II	3後		2		1							
	実験デザイン法	3前		2				1					
	実験デザイン演習	3後		1		1	1					担当者追加(25)	
	多変量解析	3後		2		1							
	ブレインコンピュータインタフェイス	3後		2		1							
	生体計測	2前		2		1							
	生体制御論	4前		2		+						科目の廃止(27)	
	生命システム学輪講	3前		1		7	2	3				兼1 教授2昇格による(26) 教授1看護学部異動による(26)	
	24 小計 (29科目)	-		46	0	56	0	5	5	+	6		教授2昇格による(26) 兼2 教授1看護学部異動による(26) 兼1 講師から准教授に昇格(25)
	育	情報システムデザイン学系											
	科	システム工学	2前		2		1		+				准教授から教授に昇格(25)
		OR	2後		2		1						
		確率・統計	2前		2		1						
		データ解析	2後		2		1	1					
		情報数学	2前		2		1	+					担当者変更(26)
		システム制御	2後		2		1						
		情報技術 I	2前		2		+						科目の廃止(27)
		情報技術 II	2後		2				+				27年度は開講しない(27)
		情報技術入門	1前		2		2	4	1				科目の新設(27)
創造性教育プロジェクト I		2前		2		4	6	1				兼1 担当者変更等(27) 教授1退職による(26) 内容を幅広くするために担当者数を増加(24)	
創造性教育プロジェクト II		2後		2		4	6	1				兼1 担当者変更等(27) 教授1退職による(26) 内容を幅広くするために担当者数を増加(24)	
創造性教育プロジェクト III		3前		2		4	6	1				兼1 担当者変更等(27) 教授1退職による(26) 内容を幅広くするために担当者数を増加(24)	
創造性教育プロジェクト IV		3後		2		4	6	1				兼1 担当者変更等(27) 教授1退職による(26) 内容を幅広くするために担当者数を増加(24)	
情報システムデザイン基礎実習 I		2前		2			3	+		+		兼1 担当者変更(24)(27) 受講対象者数の減少による(24)	
情報システムデザイン基礎実習 II		2後		2		2	2	3				兼1 担当者変更(27) 担当者変更(24)兼任追加(26) 受講対象者数の減少による(24)	
情報システムデザイン応用実習 I		3前		2		2	2					兼1 担当者変更(27) 教授1退職による(26) 担当者変更・兼任追加(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 教 育 科 目	情報システムデザイン応用実習Ⅱ	3後		2		1 2	1 5			+	兼1 担当者変更(27) 担当者変更(26)	
	情報通信ネットワーク	2後		2		+	+				科目の廃止(27) 担当者変更(26)	
	離散システム	3前		2			+				科目の廃止(27)	
	デザインマネジメント	3後		2		+	+				科目の廃止(27) 准教授から教授に昇格(25)	
	マーケティングとデザイン	3後		2		+	+				科目の廃止(27) 准教授から教授に昇格(25)	
	品質工学	3後 3前		2			1				開設学期の変更(27)	
	データベース	3前		2			+				科目の廃止(27)	
	組込みシステム	3前 2後		2			1	+			開設学年の変更及び常勤教員に変更(27) 兼1 兼任に担当者変更(24)	
	プロダクトデザイン	2後		2		+					兼1 兼任に担当者変更(24)	
	システム最適化手法	3前		2		+					科目の廃止(27)	
	センサ工学	3前		2		+					兼1 兼任に担当者変更(26)	
	情報セキュリティ	3後 4前		2		1	+				開設学年の変更及び担当者変更(27)	
	環境マネジメントシステム	4前		2		+					科目の廃止(27)	
	シミュレーション	3後		2		1	1					
	MOT概論	3後 4前		2		+					兼1 兼任に担当者変更(26)	
	経営デザイン	4前		2							兼1 科目の廃止(27)	
	22 小計 (34科目)	-		44 64	0	0	4 5 6 7 6	6 8 9 10	1	0	0	兼2 教授1退職(26) 兼6 准教授1担当者変更(26) 兼4
	コ ー ス 専 門 科 目	プログラミング基礎	2前		2			1	1	+		講師に昇格(27)
		プログラミング応用	2後		2			1	1	+		講師に昇格(27)
		アルゴリズムとデータ構造	2後 2前		2		1	1				開設学期の変更及び担当者増員(27)
		オペレーティングシステム	2後		2		1					
		ソフトウェア工学	3前		2			1				
ネットワークプログラミング		3後		2		1					兼1 担当者増員(27)	
オブジェクト指向プログラミング		3前		2		1	1					
知能情報システム		3後		2			+				科目の廃止(27)	
CG		3前 2前		2		1	+				開設学年の変更及び教授に昇格(27)	
グラフィックプログラミング		2後		2		+	+				科目の廃止(27) 担当者変更(24)	
Webデザイン		2前		2							兼1	
マルチメディアデザイン		2後		2			1					
デザイン論		3前		2			+				兼1 兼任に担当者変更(25)	
ゲームプログラミング		3後 3前		2			1	2	1	+	開設学期の変更及び講師に昇格(27) 担当者変更(26)	
感性科学とデザイン		3後		2			+				科目の廃止(27)	
コンピュータ造形法		3前		2		+	1				担当者変更(27)	
画像処理		3後		2			+				科目の廃止(27)	
ロボットシステム		2後 2前		2			1					
生産システム		2後		2			1					
メカトロニクス		3後 2後		2			1					
コンピュータアーキテクチャ		2前		2			+				兼1 兼任に担当者変更(25)	
ロボット創生学		3前 3後		2			1					
材料計画とデザイン	3前		2		+					科目の廃止(27)		
応用システムデザイン	3前 3後		2			1						
19 小計 (24科目)			38 42	0	0	3 4	7	0	1	0	兼4 兼3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 学系専門科目	機械・電気工学系											
	製図基礎	1前		2		1	2					常勤に担当者変更 兼1 担当者変更
	CAD基礎	1後		2		2	1					教授昇格(27) 2クラス編成とし、担当教員数を増加した(23)
	機械・電気実験A	2前		2		4	2					兼7 兼任減(27) 兼5 担当者変更(26) 担当者変更(24)
	機械・電気実験B	2後		2		4	2					兼7 兼5 担当者変更(24)(25)(26)(27)
	機械・電気実験C	3前		2		7	3					担当者変更(27) 兼3 教授1昇格(26)
	機械・電気実験D	3後		2		5	1					担当者変更(27) 兼3 教授1昇格(26)
	シーケンス制御 I	3前		2		1						
	シーケンス制御 II	3後		2		1						H27年度は開講しない(27)
	材料力学A	2前		2			1					
	材料力学B	2後		2			1					
	流体力学 I	2前		2		1						
	流体力学 II	2後		2		1						
	機構学	2前 2後		2			1					開設学期の変更(27)
	金属材料基礎	2前		2		1						
	金属材料	2後		2			1					
	機械工作法	2後 2前		2		1						開設学期の変更(27)
	機械要素	2後		2			1					
	切削加工	2後		2			1					
	JIS機械製図	2前		2		1	2					常勤に担当者変更 兼1
	JIS機械製図応用	2後		2		1						兼1 兼任減(27)
	機械力学A	2後 3前		2			1					開設学年の変更(27)
	機械力学B	3後		2			1					
	流体機械	3後		2		1						
	自動車工学Ⅰ	3前		2								兼1 科目の廃止(27)
	自動車工学Ⅱ	3後		2								兼1 科目の廃止(27)
	非金属材料	3前		2		1	1			1		講師から准教授に昇格(25) 教授昇格による(26)
	塑性加工	3後 3前		2		1						開設学期の変更(27)
	精密加工	3後		2			1					
	機械設計	3前		2		1						兼1 兼任減(27)
	工業CAD I	3後		2		1						兼1 兼任減(27)
	工業CAD II	4前		2		1						兼1 兼任減(27)
	機械設計応用	4前		2			2					H27年度は開講しない(27)
	アクチュエータ工学	3前		2		1	1					担当者変更(25)
電気電子製図	2前		2		1						兼1 非常勤講師から専任教員へ担当者変更(24)	
電気回路Ⅰ及び演習	2前・後 2前		3		2	2					開設学期の追加(27) 担当者変更(26)(27) 2クラス編成とし、担当教員数を増加した(24)	
デジタル回路	2後		2								兼1	
基礎電子回路及び演習	3前・後 3前		3		2	1					開設学期の追加(27) 2クラス編成とし、担当教員数を増加した(24)	
電気磁気学Ⅰ及び演習	2前・後		3		2	1	1				開設学期の追加(27) 教授昇格による(26) 担当者変更(24)	
過渡現象	2後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
学系 専門科目	電気電子物性	2前		2			1						科目の廃止(27) 兼1 兼任に担当者変更(26)		
	電気電子設計	3前		2			1						兼1 非常勤講師から専任教員へ担当者変更(25)		
	パワーエレクトロニクス	3後		2			1								
	半導体デバイス工学	3前		2			1								
	高電圧工学	3後		2				1							
	無線システム工学	3前 3後						1						開設学期の変更(27)	
	電力技術実習基礎	2前		2										兼1	
	電力技術実習応用	2後		2										兼1	
	電気回路入門	1後		2			1	1						科目の新設(27)	
	電磁気入門	1後		2			1							科目の新設(27)	
	46 小計 (47科目)	-		95		0	14 12 11 10	8 7 9 11	0			0	0	准教授2教授昇格による(26) 兼7 准教授1担当者変更(26) 兼6	
	専 門 教 育 科 目	PC援用材料力学	2後		2			1							
		機械力学C	4前		2				1						
		材料力学C	3前		2			1							
		材料強度学	3後		2			1							
		力学計測基礎	3前		2			1							
		3DCAD	2前		4			1							兼+ 兼任減(27)
		CAE基礎	2後		3			1							
		3D計測 I	2前		2			1							
		3D計測 II	2後		2			1							兼1 非常勤講師から専任教員へ担当者変更(24)
		機械工作実習	2前		3			1							兼+ 兼任減(27)
		CAM実習	2後		3				1						兼+ 兼任減(27)
		CAD/CAMデザイン総合演習 I	3前		2			1	1						兼2 兼任減(27)
		CAD/CAMデザイン総合演習 II	3後		2			2	1						兼2 兼任減(27)
CAE応用		3前		3			1								
工業デザイン I		3後		2										兼1 H27年度は開講しない(27)	
工業デザイン II		4前		2			1							兼1 非常勤講師から専任教員へ担当者変更(25)	
創作ゼミ I		2前		1			5 4	1 2 3 4						教授昇格(27) 担当者変更(26) 受講対象者数の減少による(24)	
創作ゼミ II		2後		1			5 4	1 2 3 4						教授昇格(27) 担当者変更(26) 受講対象者数の減少による(24)	
創作ゼミ III		3前		1			5 4	1 2 3 4						教授昇格(27) 担当者変更(26) 受講対象者数の減少による(25)	
電気回路 II		2後		2			1	1						准教授から教授に昇格(24)	
電子回路		3後		2			1								
伝送回路		3後		2			1	1						担当者変更(25)	
電気磁気学 II		2後		2			1	1						教授昇格による(26)	
電気電子計測		2後		2			1	1						担当者変更(24)	
発変電工学	3前		2			1	1						教授昇格(27)		
送配電工学	3後		2			1	1						教授昇格(27)		
電力系統工学	3後		2			1	1						教授昇格(27)		
電気法規・施設管理	3前		2			1	1						常勤に担当者変更(27) 兼1 兼任に担当者変更(25)		
電気電子材料	3後		2			1									
電気通信法規	3前		2			1									
電磁波工学	3前 4前					1	1						開設学年の変更(27) 教授昇格による(26)		
通信工学	4前		2			1							兼1 兼任に担当者変更(26)		
電力工学演習	3前		1										兼1 科目の廃止(27)		
電気応用工学	4前		2			1							兼1 常勤に担当者変更(26)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース専門科目	電気電子工学実験	4前				2	1						教授昇格(27) 担当者変更(26)
				2		+	2						兼1
	34 小計 (35科目)	-	0	71	0	11	3						兼1 准教授1教授昇格(26) 兼5 教授1退職(26)
	建築・社会基盤学系												
専門教育科目	建築・土木基礎製図	1後		1		+	+						兼1 科目の廃止(27)
	材料基礎	2前		2		1							受講対象者の減少による(27)
	構造力学Ⅰ	2前		3		3							
	構造力学Ⅱ	2後		2		3							
	構造力学Ⅱ演習	2後		1		3							
	建築応用力学	2後		2		+	1	1					受講対象者の減少による(27)
	測量Ⅰ	2前		2			1						
	測量Ⅱ	2後		2			1						
	測量実習Ⅰ	3前		2			1						兼1 兼任減(27)
	建築・土木基礎実験	2前		2		1	2	+		2			担当者変更(27) 受講対象者数の減少による(24)
	都市設計	3前		2		1							
	鉄筋コンクリート構造Ⅰ	3前		2		2							
	鉄骨構造Ⅰ	3前		2					1				
	都市計画	3前		2		+							科目の廃止(27)
	福祉環境学	3後		2		1	+						准教授1名教授に昇格(24)
	防災工学	3前 3後		2				1					開設学期の変更(27)
	建築・社会基盤特別実習	3後		2		1							
	地区設計	4前		2		3	2						担当教員の増員(27)
	16 小計 (48科目)	-	0	32	0	10	3	2	2				兼1 兼2
		建築基礎製図	1後		1		2	1					
	建築計画Ⅰ	2前		2		1							
	建築計画Ⅱ	2後		2		2							担当者変更(26)
	建築環境工学	2前		2		1							准教授1名教授に昇格(24) 准教授1名退職(23)
	建築施工	2後		2		1							准教授1名退職(23)
	建築設備	2後		2			1						准教授1名退職(23)
	建築設計製図Ⅰ	2前		2		+	+						担当者変更及び兼任減(27) 兼2
	建築設計製図Ⅱ	2後		2		2							兼2 兼任減(27)
	建築設計製図Ⅲ	3前		2		1	1						担当者変更及び兼任減(27) 兼2
	建築設計製図Ⅳ	3後		2		+	+						兼1 科目の廃止(27)
	建築法規	2後		2		2							
	歴史意匠	2後		2		1							
	建築CAD・CG	2前		1			+						兼2 科目の廃止(27)
	木質構造	3前		2		1	1						
	建築基礎構造	3前		2		1							
	人間環境学	3前		2		1	+						担当者変更(26)
	環境デザイン学	3前		2			1						
	設備設計	4前		2		1	1						担当者追加(26)
	構造製図	4前		2		2	2	1					
	施工製図	4前		2		1							兼1 兼任減(27)
	コンクリート材料	2後		2		1							
	土木計画	2後		2		1				1			担当教員の増(27)
	土木史	3前		2			1						
	ランドスケープデザイン	3後		2									兼1
	GIS	3後		1						1			兼1 常勤に担当者変更(27)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 教 育 科 目	建築構造力学	3前		2				+				科目の廃止(27)
	建築材料	3前		2		1						
	鉄筋コンクリート構造Ⅱ	3後		2		1						
	鉄骨構造Ⅱ	3後		2				1				
	建築構造計画	3後		2		1						
	建築数値解析	3前		1				+				兼1 科目の廃止(27)
	建築材料実験	3前		2		1				1		兼1 常勤に担当者変更(27)
	建築構造実験	3前		2		2	2	1				
	建築環境実験	3前		2		1	1					
	空間表現基礎	1前		1				+				兼1 科目の廃止(27)
	空間デザイン原論	2前		2			+					科目の廃止(27)
	住まいとインテリア	2後		2			1					
	空間構造デザイン学	3後		2				+				科目の廃止(27)
	空間構成	3前		2				+				科目の廃止(27)
	空間演出デザイン	3後		2								兼1 科目の廃止(27)
	土質力学	2後		3		1						
	数値処理	2後		1		1						
	水理学Ⅰ	2前		3		1						
	水理学Ⅱ	2後		2		1						
	地盤工学Ⅰ	3前		2		1						
	地盤工学Ⅱ	4前		2			+					科目の廃止(27)
	土木構造力学	3前		2		1	+					担当者減(26)
	土木施工技術	3前		2		+						兼1 担当者減(26)
	一般火薬学と法令	3前		2		1	+					准教授から教授に昇格(25)
	土木応用数学	3前		2		1						
	上下水道工学	3後		2								兼3
	河川工学	3後		2								兼1 科目の廃止(27)
	道路工学	3後		2		+				1		兼1 常勤に担当者変更(27) 兼1 兼任に担当者変更(25)
	交通計画	3後		2		1						
	土木施工管理	3後		2		+						科目の廃止(27) 兼1 兼任に担当者変更(25)
	測量実習Ⅱ	3後		2			1					兼1 兼任減(27)
	都市マネジメントゼミⅠ	2前		1		+						科目の廃止(27)
	都市マネジメントゼミⅡ	2後		1		+						科目の廃止(28)
	土木法規	3前		2		1						兼1 担当者変更(27) 兼2
	土木設計製図	3後		2		1						
	コンクリート実験	3前		2		2				1		担当教員の増(27)
	水理・土質実験	3後		2		2						
	土木CAD	4前		1						1		兼2 常勤に担当者変更(27) 兼1 兼任担当者追加(26)
	49 小計 (62科目)	-		0	96	0	12 14 15 14 13	5 7 8	2 2 4	2 2 0	0	兼4 教授1退職による(26)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
			637			46	23	4	3			教授昇格3。教授採用1。講師採用1。教授退職3。准教授退職1。助教昇格2。教授1看護学部から工学部に異動(27)
		-				44	27					教授昇格3。教授採用1。教授退職2。准教授採用1。准教授退職2。(26) 教授1看護学部へ異動(26) 但し、助教1は1年間海外研修。(26)
	345 合計 (374科目)					43	34	2				教授昇格1。准教授昇格1。准教授退職3。講師退職1(25)
						42	35	4				教授昇格2・教授退職1・新規准教授1・新規講師1(24)
						41	36	3	1		兼96	教授昇格5・教授退職1・准教授昇格2・新規准教授1・准教授退職3(23)
			10	708	4	37	41	5	2	0	兼79	

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 設置許可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。
 - ・ 「配当年次」について、設置許可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置許可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	369	2	374	3 [0]	340 [△29]	2 [0]	345 [△29]	

- (注)
- ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
 - ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし(23)(24)					
2	文学Ⅰ(25休講)	2	1	一般	選択	担当教員が依願退職。後任が未決定のため。
3	文学Ⅱ(25休講)	2	1	一般	選択	担当教員が依願退職。後任が未決定のため (25) 25年後期に兼任を採用し実施した(26)
4	ゼミナール(外国語)(26)(27)	1	1-2	一般	選択	担当教員の都合のため開講せず(26) 担当教員の都合のため開講せず(27)
5	自然エネルギーと適正技術(26休講)	2	2	専門	選択	担当教員が1年間海外研修に出張。後任未決定のため。
6	風力エネルギー(26休講)	2	3	専門	選択	担当教員が1年間海外研修に出張。後任未決定のため。
7	情報技術Ⅱ	2	2後	専門	選択	担当教員の都合のため開講せず(27)
8	シーケンス制御Ⅱ	2	3後	専門	選択	担当教員の都合のため開講せず(27)
9	機械設計応用	2	4前	専門	選択	担当教員の都合のため開講せず(27)
10	工業デザインⅠ	2	3後	専門	選択	担当教員の都合のため開講せず(27)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし(23)(24)					
2	該当なし(25)					
3	該当なし(26)					
4	文学Ⅰ	2	1・2前	一般	選択	完成年度を迎え、教養科目・専門科目全体の教育課程及び科目編成等の見直しによる(27)
5	文学Ⅱ	2	1・2後	一般	選択	
6	教育学Ⅰ	2	1前	一般	選択	
7	教育学Ⅱ	2	1後	一般	選択	
8	足利史Ⅰ	2	1前	一般	選択	
9	足利史Ⅱ	2	1後	一般	選択	
10	生涯スポーツⅠ	1	3前	一般	選択	
11	生涯スポーツⅡ	1	3後	一般	選択	
12	シーズンスポーツ	1	1・2・3・4 休	一般	選択	
13	環境工学概論	2	1前	専門	選択	
14	生命システム学入門	2	1後	専門	選択	
15	情報システムデザイン概論Ⅰ	2	1前	専門	選択	
16	情報システムデザイン概論Ⅱ	2	1後	専門	選択	
17	機械・電気概論Ⅰ	2	1前	専門	選択	
18	機械・電気概論Ⅱ	2	1後	専門	選択	
19	建築・社会基盤概論Ⅰ	2	1前	専門	選択	
20	建築・社会基盤概論Ⅱ	2	1後	専門	選択	
21	環境とライフスタイル	2	2前	専門	選択	
22	自然エネルギー・環境実習C	2	3後	専門	選択	
23	省エネルギー	2	2後	専門	選択	
24	環境保全Ⅰ	2	3前	専門	選択	
25	エネルギー環境と倫理	2	4前	専門	選択	
26	分子生物学	2	2後	専門	選択	
27	認知心理学Ⅱ	2	3前	専門	選択	
28	社会とメディア	2	2前	専門	選択	
29	臨床心理学Ⅱ	2	4前	専門	選択	
30	生体制御論	2	4前	専門	選択	
31	情報技術Ⅰ	2	2前	専門	選択	
32	情報通信ネットワーク	2	2後	専門	選択	
33	離散システム	2	3前	専門	選択	
34	デザインマネジメント	2	3後	専門	選択	
35	マーケティングとデザイン	2	3後	専門	選択	
36	データベース	2	3前	専門	選択	
37	システム最適化手法	2	3前	専門	選択	
38	センサ工学	2	3前	専門	選択	

39	環境マネジメントシステム	2	4前	専門	選択
40	経営デザイン	2	4前	専門	選択
41	知能情報システム	2	3後	専門	選択
42	グラフィックプログラミング	2	2後	専門	選択
43	感性科学とデザイン	2	3後	専門	選択
44	画像処理	2	3後	専門	選択
45	材料計画とデザイン	2	3前	専門	選択
46	自動車工学Ⅰ	2	3前	専門	選択
47	自動車工学Ⅱ	2	3後	専門	選択
48	電気電子物性	2	2前	専門	選択
49	電力工学演習	1	3前	専門	選択
50	建築・土木基礎製図	1	1後	専門	選択
51	都市計画	2	3前	専門	選択
52	建築設計製図Ⅳ	2	3後	専門	選択
53	建築CAD・CG	1	2前	専門	選択
54	建築構造力学	2	3前	専門	選択
55	建築数値解析	1	3前	専門	選択
56	空間表現基礎	1	1前	専門	選択
57	空間デザイン原論	2	2前	専門	選択
58	空間構造デザイン学	2	3後	専門	選択
59	空間構成	2	3前	専門	選択
60	空間演出デザイン	2	3後	専門	選択
61	地盤工学Ⅱ	2	4前	専門	選択
62	河川工学	2	3後	専門	選択
63	土木施工管理	2	3後	専門	選択
64	都市マネジメントゼミⅠ	2	2前	専門	選択
65	都市マネジメントゼミⅡ	2	2後	専門	選択

- (注) ・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし(23)(24)

文学Ⅰ及び文学Ⅱの平成25年度休講については、担当者が急な退職のため、後任の採用が間に合わなかったため休講措置とした。今後は速やかに後任を採用する予定である。学生には履修ガイダンス等で周知した。(25)

自然エネルギーと適正技術及び風力エネルギーの平成26年度休講については、JICAから担当者が急に海外研修を依頼され、1年間の期間のため休講措置とした。なお、卒業研究や課題研究の担当学生の指導は、学系の他の教員に配置換えして指導する体制を整えた。学生には履修ガイダンス等で周知した。(26)

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	67	=	0.17
認可時の計画の授業科目数の計	374		

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	64,518 m ² 61,567	2,302 m ² 0	3,222 m ² 0	70,042 m ² 61,567				
	運動場用地	83,009 m ² 93,109	1,461 m ² 36,414	1,633 m ² 0	86,103 m ² 129,523	h25年3月大月グラウンド を附属高校に移管(26)			
	小 計	147,527 m ² 154,676	3,763 m ² 36,414	4,855 m ² 0	156,145 m ² 191,090	看護学部用に本城 キャンパス開設(26)			
	そ の 他	11,300 m ² 0	2,077 m ² 0	0 m ² 0	13,377 m ² 823	H22年12月売却(23)			
	合 計	158,827 m ² 154,676 155,499	5,840 m ² 36,414	4,855 m ² 0	169,522 m ² 191,090 191,913	看護学部開設に伴い 校地等の区分を見直す (26)			
(2) 校 舎	専 用	55,925 m ² 52,045 (52,015m ²) (52,815m²)	3,707 m ² (0m²)	2,467 m ² (0m²)	62,099 m ² 52,045 (52,015m ²) (52,815m²)	教員宿舎等一部取壊し -23 看護学部用に本城 キャンパス開設(26)			
	共 用								
(3) 教 室 等	講 義 室	32 33 室	54 52 59 54 室	119 104 77 室	6 室 1 2 0 (補助職員十人)	看護学部開設に伴い、 見直した。(26) 一部当初記載ミス(24) ゼミ室等を増設(24) 情報処理学習施設補助 職員増(25)退職1(27)			
	演 習 室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				114 113 185	看護学部開設に伴い、 研究室区分を大幅に見 直した(26) 新規採用による(27)			
	創生工学科								
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体 図書等の購入・除却をし た為(23)(24)(25)(27)	
	創生工学科	155,471 [29,102] 153,398 [28,668] 151,398 [151,398] 149,627 [149,627] (152,834 [52,366]) (151,062 [28,468])	3,164 [2,642] 2,967 [2,445] 2,934 [2,934] 2,926 [2,926] (1,912 [1,777]) (2,746 [2,258])	2,163 [2,163] 1,966 [1,966] 1,966 [1,966] 1,967 [1,967] (1,762 [1,707]) (1,745 [1,690])	7,142 7,134 6,916 6,741 (7,322) (7,299)	82 82 (89) (82)	0 0 (0)	電子ジャーナルの利用契 約を減少(24) 視聴覚資料増は新規購入 のため(25)	
	計	155,471 [29,102] 153,398 [28,668] 151,398 [151,398] 149,627 [149,627] (152,834 [52,366]) (151,062 [28,468])	3,164 [2,642] 2,967 [2,445] 2,934 [2,934] 2,926 [2,926] (1,912 [1,777]) (2,746 [2,258])	2,163 [2,163] 1,966 [1,966] 1,966 [1,966] 1,967 [1,967] (1,762 [1,707]) (1,745 [1,690])	7,142 7,134 6,916 6,741 (7,322) (7,299)	82 82 (89) (82)	0 0 (0)	看護学部開設のため増冊 になった(26) 電子ジャーナルの増加は 契約ロビの収録タイトル 数の増加(27)	
	面 積	3,763.27 m ²	閲覧座席数 450 384	収 納 可 能 冊 数 220,000 200,000				看護学部開設に伴う座 数等の増加(26)	
(7) 体 育 館	面 積	2,853.55 m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要				弓道場を追加(24)		
			—なし	弓 道 場	302.94 m ²				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	昨年度の記載ミス(24) (70→700)
		教員1人当り研究費等	826千円 70千円	700千円 70千円	図書購入費	20,720千円	29,523千円 20,000千円	20,000千円	
	共同研究費等	5,519千円 5,500千円	5,500千円	設備購入費	60,890千円	34,592千円 60,000千円	60,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
学生納付金以外の維持方法の概要	1,260千円	1,260千円	1,260千円	1,260千円	—千円	—千円			私立大学等経常費補助金、手数料収入、資産運用収入、雑収入

- (注) ・ 設置時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	足利工業大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
工学部 創生工学科	4	400		1720	学士(工学)	0.69	平成23年度	栃木県足利市 大前町268番地の1		工学部 平成26年度 入学定員変更 440名→400名
看護学部 看護学科	4	80	3年次 3人	326	学士(看護学)	1.00	平成26年度			
工学研究科 博士後期課程 情報・生産工学専攻	3	3		9	博士(工学 又は学術)	0.22	平成8年度	栃木県足利市本城 3丁目2120番地		
建設・環境工学専攻	3	2	-	6	博士(工学 又は学術)	0	平成8年度			
工学研究科 修士課程 情報・生産工学専攻	2	20	-	40	修士(工学)	0.67	平成25年度			
建設・環境工学専攻	2	15	-	30	修士(工学)	0.20	平成25年度			
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)		平成2年度			
電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)		平成2年度			
都市環境工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)		平成2年度			
建築学専攻	2	-	-	-	修士(工学)		平成5年度			
システム情報工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)		平成5年度			
工学部 機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)		昭和42年度			
電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)		昭和42年度			
建築学科	4	-	-	-	学士(工学)		昭和42年度			
都市環境工学科	4	-	-	-	学士(工学)		昭和48年度			
システム情報工学科	4	-	-	-	学士(工学)		昭和48年度			
大学の名称	足利短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
こども学科	2	100	-	200	短期大学士	0.68	昭和54年度	栃木県足利市本城 3丁目2120番地		平成26年度 より募集停止
看護学科	3	-	-	-	短期大学士		平成8年度			

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況（抜粋）

（2）専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成（前年度の状況）	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
37	41	5	2	85	46	23	4	3	76	H14以降65歳 H13以前70歳	1名 1名 計 1名	H14以降65歳 H13以前70歳	1名 2名 計 3名
(42)	(36)	(3)	(2)	(83)	[9]	[△18]	[△1]	[1]	[△9]				

- （注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・「年齢構成」には当該学部における教員の定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・「年齢構成（前年度の状況）」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「－」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年4月)	工学部創生工学科、足利短期 大学こども学科の定員充足率 が0.7倍未満となっている ことから、学生確保に努める とともに、入学定員の見直し について検討すること。	創生工学科については、H25 入試の入学定員数は変更せず 学生確保に努める。 足利短期大学こども学科は、 H24の入学者数が0.88倍と なったことから、暫く現状を 維持する。	H25の入学者数を見て、入学 定員数減を検討する。
設置計画履行状況 調 査 時 (25年 2月)	工学部創生工学科の定員充足 率が0.7倍未満となっている ことから、学生確保に努める とともに、入学定員の見直し について検討すること。	学生確保に鋭意努力して いる。	平成26年度から工学部入学定員 を400人に変更する。
設置計画履行状況 調 査 時 (26年 2月)	工学部創生工学科の定員充足 率が0.7倍未満となっている ことから、学生確保に努める とともに、入学定員の見直し について検討すること。	H26年度から看護学部看護学科を 開設した。この結果は、工学部に 好影響を及ぼすものと期待する。 今後も学生確保に鋭意努力する。	平成26年度から入学定員を 400人に変更した。
設置計画履行状況 調 査 時 (27年 2月)	工学部創生工学科の定員充足 率が0.7倍未満となっている ことから、学生確保に努める とともに、入学定員の見直し について検討すること。	H26年度から看護学部看護学科を 開設した結果も影響して、70%を 超えた。 今後も学生確保に鋭意努力する。	平成27(2015)年度の入試におい て、一般学力入試A及びセンター 利用入試Aの歩留まり率が向上 し、改善の結果が出てきた。 来年度以降も学力試験入学者の 増加に向けて学生募集活動に 努力する。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 創生工学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特記事項なし(23)(24)(25)(26) 完成年度を過ぎたため、カリキュラム編成(授業科目の改編等)を実施した。(27)	全般的に見直しを図り、カリキュラムの充実と整合性を高めた。 特に、英語教育と情報教育においては、外部試験による単位認定を導入し、学習の多様化を図った。(27) 今後も、教養及び基礎科目の充実を進めたい。(27)

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況：教務委員会(23)(24)(25)(26)(27)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会は、原則毎月1回定期的に開催されている。(23)(24)(25)(26)(27) ・ 委員は、創生工学科の5学系の代表者(1人)と教養科目担当(共通課程)から1人が出席している。(23)(24)(25)(26)(27) <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教務委員会規程では、(1)教育課程の編成に関する事(2)学生の履修に関する事(3)授業日程等の編成に関する事(4)学科間(「共通課程」を含む。)の教務に係る連絡調整に関する事(5)その他教務に関する必要な事項となっている。教員の資質向上や教授法改善につながるFDについての審議は、(5)の中で実施している。(23)(24)(25)(26)(27) ・ 学生の学力の多様性を鑑み、学生個々の習熟度にあった教授法を重視したFDとした。(24)(25)(26) ・ 学生の学力の多様性を踏まえて、個々の学生それぞれがモチベーションアップに繋がる教授法を重視したFDとした。(27) ・ 特に留学生のモチベーションアップや満足度アップ及び日本語教育と英語教育について分科会を持った。(27) ・ ユニークな授業を実施している教員や授業内容を公開し、担当教員のプレゼンを実施した。(24) ・ 学心上位者への配慮として、高次学年配置科目の履修や3年次修了の制度を検討した。(25) ・ 特に、学業特待生や優秀な編転入生などの学心上位者には、低学年次から研究室での特別指導体制を検討した。(26) <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新学系体制の授業概要と教育目標及び学生の履修方法等についての説明会(FDシンポジウムの中で)(23)(24)(25)(26) ・ 授業評価アンケート(23)(24)(25)(26)(27) ・ 教員相互の授業参観(一部の教員が自発的に実施している。)(23) ・ 学長と副学長が個々の授業を参観した。(27) ・ クラス担任のためのカリキュラム及び履修指導ガイダンス(23)(24)(25)(26)(27) ・ AIT-VOICE(学生からの意見書)制度(23)(24)(25)(26)(27) ・ 全学体制で実施している導入教育科目の「フレッシュマンゼミ」と「文章表現I」の実践レポートを冊子に纏め全教員に配付し、他の教員の実施内容を参照できるようにした。(24)(25)(26)(27) <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FDシンポジウムは、大講義室において終日(1日)実施する。(23)(24)(25)(26)(27) ・ クラス担任ガイダンスは、3月末に実施する。必要に応じて後期開始前(9月中旬)に実施する。(23)(24)(25)(26)(27) <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FDシンポジウム及びクラス担任ガイダンスの教員出席は義務付けしており、殆ど欠席者はいない。クラス担任ガイダンスを止むを得ず欠席した教員には、別途学務課がガイダンスを実施している。(23)(24)(25)(26)(27) <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケートの結果が思わしくない教員には、学長が個別に指導している。(23)(24)(25)(26)(27) ・ AIT-VOICEにより、授業や教育環境に関する意見には、教務委員会だけでなく学生指導委員会とも強調しながら問題点を改善している。(23)(24)(25)(26)(27) <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケートは、前期、後期の2回実施する。(23)(24)(25)(26)(27) <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員には、担当科目それぞれの集計結果を配付する。(23)(24)(25)(26)(27) ・ 学生には、実施科目すべての集計結果を冊子にまとめ、図書館・学務課において公開する。(23)(24)(25)(26)(27)
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <ul style="list-style-type: none">・本年度は初年度のため、全く結果が出ていない。所見は少なくとも1年度終了してからになる。(23)・新生生の履修状況や単位取得状況等を検証した。合わせて、CAP制の履修上の影響等についても検証し、時間割編成を見直した。(24) (26)・学系ごとの在籍者数のアンバランスによる教育的な諸問題を検討し、出来るだけ学際的で学系横断的な教育方策を実施した。(25)・学業特待生に代表される学力高位者と基礎的学力に不足している学力低位者の両極化に対応できる新しい教育システムを検討した。(25) (26) (27)・学系ごとの3年次在籍者数にアンバランスがあるため、教育的配慮から、3年次後期の「課題研究」及び4年次の「卒業研究」は、学系またはコースを違えて指導教員を選択できるように教育方策を変更した。(26) (27)・学業特待生入試制度を見直し、入学者の学力をできるだけ向上させることを検討した。(27)・創生工学科の組織体制を見直し、来年度からの入学者により解かり易くなるように教育課程再編に着手した。(27)・教養教育の充実を進め、専門教育に繋がる基礎力を向上させるために教養教育と専門教育の連携を図り「基礎教育センター」を開設した(27) <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・平成26年8月1日 「自己点検評価書」を大学ホームページ上に公表した。(27)・平成27年3月10日 「平成26年度大学機関別認証評価において、同機構が定める 大学評価基準に適合している」と認定されたことを大学ホームページ上に公表した。(27) <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検・評価報告書を刊行し、教職員に配布する。(23) (24) (25)・自己点検評価書を刊行し、全常勤教職員に配布した。H25. 03 (25)・H26年度は、実地調査受審の関係上、自己点検評価書の刊行は6月末になる。速やかに全常勤教職員に配布予定。(26)・大学ホームページ上に公開予定（期日は平成26年5月1日 公表）(26) (27)・大学附属図書館において、不特定多数の希望者に対して自由に閲覧可能とする。(23) (24) (25) (26) (27) <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成25年度に評価機関（日本高等教育機構）の評価を受けるべく、学内で検討中(23)・平成26年度に評価機関（日本高等教育機構）の評価を受けることを決定し、自己点検・評価委員会が担当する。(24) (25)・平成26年9月29日から10月1日に評価機関（日本高等教育機構）の実地調査を受けることが決定している。(26)・（財）日本高等教育評価機構による認証評価を受け、平成27年3月10日に「平成26年度大学機関別認証評価において、同機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されました。(27)
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2015年 7月 1日)</p>
